



マックス完全優勝でGP連覇!

朝からどんより曇った1月8日(日)板橋区立平和公園で、第14回グランドチャンピオン戦が行われ、ブルガリアマックスが決勝トーナメントの両山を制し完全優勝を果たした。これでマックスは前年に続き2連勝、2017年は前人未到の3連覇を目指すこととなった。

岩坊マックスに一矢報いるも連勝はならず

グランドチャンピオン戦は、月例会優勝者にその権利が与えられる。昨年2勝したハルク、3勝したマックスは複数枠あるので、その分チャンスが多くなるのだが、その割を食ったのが岩坊だ。『連覇なるものか!』とマックスを一度は寄り切ったが、準々決勝の相手がまたマックスだ。ここはさすがに連勝とはならず無念の敗退となった。勢いに乗るマックスは続いて奥田パパを撃破し決勝戦進出を決める。

一方、二枠あるハルクは、ゆうひにストレート負けを喫すると、マックスには1本取るもそこまで。正月疲れのせいかどこか精彩がない。そのマックスは、続いてルパンを一蹴するとソウタもいなし、こちらの山も決勝戦進出となった。これで決勝戦はマックス対マックスとなり優勝が決定、うれしいグラチャン連覇となった。やはり2016年はマックスイヤーだったのだ。

子ども王は練板オープン覇者のソウタ

2016年は子どもが3人優勝した。角六王のゆうすけ、25ポイントマッチのゆうひ、そして練板オープンのソウタだ。この3人がトーナメントで直接対決となり、まずソウタがゆうすけを下し、続けてゆうひもソウタが倒して準決勝進出となった。おめでとうソウタ、グラチャンベスト4は立派です。



ソウタ、マックス おめでとう!



2017 開幕戦はゆうたが制覇!

子どもが強くなり面白くなってきた昨今の練板だが、干支王戦はまさにそんな戦いになった。前回雨のため中断した第十期干支王戦は、晴れ渡った2月12日(日)に再開され、ソウタ対ゆうたの決勝戦となった。ここまで1本も取られずストレート勝ちを収めてきたソウタと、1本ずつ取られながらもしのいできたゆうたの二人。大人たちが食い入るように見つめるその戦いは、まさに紙一重の差を探る戦いとなった。

ソウタのベーは弾かれても動かない。それでいてちゃんと動くのだ。ベーもいいし、腕もいい。どうしたらこのベーを飛ばせるのだろう。大人たちが悩むほどの出来なのだ。だから、ソウタの優勝で決まり、と思っていたが、このベーをゆうたが飛ばしたのではないか。普段おとなしいゆうたが、やる時はやるよと言わんばかりの奮闘ぶりなのだ。

これには大人が驚いた。ゆうたベーはあのソウタベーを飛ばせるのだ。聞けば、大方ゆうたが削り仕上げをだいちさんが少し手伝った程度だという。だとしたらたいしたものだ。勝負はギリギリの戦いが続き、気が付けば3対1でゆうたが勝った。おめでとうゆうた。あなたがグラチャン出場権第1号です。

子ども王もゆうた、女流王はまみいが獲得

子ども王はもちろんゆうただが、そのゆうたから1本取ったまみいが女流王だ。岩坊に勝ち、その勢いで勝ち抜けるかと思ったが、ゆうたのベーに乗っかっちゃっての負け。ぶつかり合いの勝負で負けたのなら仕方ないが、あっけない負け方だっただけに、悔いが残る戦いだったかな。もしかしたら優勝の目もあったかも。



ゆうた、まみい おめでとう!

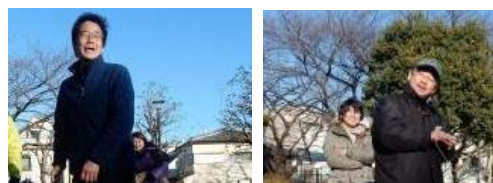


第十五期ベー王戦は中Gの手に

干支王に続き午後行われたベー王戦は、一転して大人たちの戦いとなった。ベスト4は平井おやぢ、中G、ほん魂六角、マックスの4名だ。ここから中Gとマックスが勝ち上がり決勝戦となる。今期から新たに導入されたNIB グランドスラムは、このベー王、練板オープン、そして角六王の3つのタイトルをすべて制覇した者に贈られる。取ればオリジナルベー50個のおまけつきだからここは押さえない。まあ、中Gはそうそう参加できないので、中Gが取ると2017年のグランドスラムは該当者なしということになるが、マックスならそれは可能だ。しかし、中Gにも意地がある。『本気でやったら中Gが一番つよいよ』、そういう声も聞くが、あまり優勝していないのだ。ベーゴマ界の牽引者として、時には強さを見せつけなければならない。



中G、ゆうすけ おめでとう!



だから決勝戦は熱を帯びた。中Gが取ればマックスが取る。マックスが取ると中Gが取る。まさに互角の戦いだ。審判のハルクも真剣そのもの。ここで間違った判定をしてはドン引きだ。観衆はどう見ていたかという、噂の最強男中Gではあるが、実績ではマックスが断然だ。大きくリードしている。そうなるここは中Gを応援ということになる。いわゆる判官びいきというやつだ。「中Gがんばれ！」の声が飛ぶ。すると、そんな声の中Gのベーに乗り移ったか、カチンという金属音とともにマックスベーが弾かれたではないか。万馬券だ、万馬券だ！観衆から声が上がリ、みんながどっと受ける。それでも中Gはニコニコするだけだ。だって、中Gはベーゴマができれば、それだけで幸せなのだ。単純〜ん。おめでとう中G。人気だねえ。



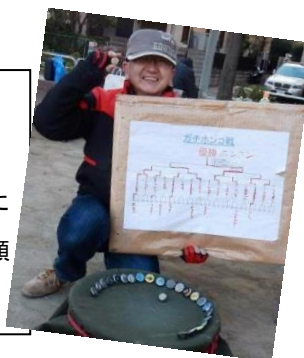
子ども王はゆうすけ、女流王は該当者なし

大人の常連組がバタバタ予選落ちするなか、かずひろ、ゆうすけ、ゆうと、りょう、りゅうきの子ども5人が決勝トーナメントに勝ち残った。とにかくレベルが高いのだ。その中で、だいちジャパンを下したゆうすけが子ども王となった。ゆうすけは準々決勝で、優勝した中Gからも1本取っているから、堂々の子ども王だろう。子ども王と女流王のグランドスラムはまだ決めていないけれど、新設してもいいかな。もし、ゆうすけが練板オープンと角六王戦で子ども王を取れば『子どもグランドスラム』。いかがでしょうか。

ラム』。いかがでしょうか。

ガキホンはほん魂六角

ほん魂六角が久々の満願だ。ハルク、だいち、まみい、小出っちを順番に倒した。ベーゴマ23個は重いよ。それにしてもほん魂さん、勝つことが何よりの妙薬だねえ。いい顔してるよ、おめでとう。



第5回 NIB フォトコンテスト結果発表 テーマは「季節の花」

季節を彩る「花」。第5回フォトコンテストにご応募くださり、誠にありがとうございました。会員による厳正なる投票の結果、金賞には奥田パパ「睡蓮 (すいれん)」、銀賞はハルク「バラとシンデレラ城」、銅賞はと一さん成田「大都会のビルとなの花」、佳作はマッチの「雪桜」、そして、審査員特別賞は岩坊「花とミツバチ」でした。花は身近にあるのでいつでも撮れそうですが、光の具合やアングル等で写真の出来が違って来るので、その一瞬をつかむのに難しさを感じました。

さて、今年のテーマは「雨」です。雨はさまざまな人間模様や情景を見せてくれます。そば降る雨、急な夕立、雨に濡れた木の葉、傘を差した後姿の女の子、なんていうのもいいかも知れません。虹が撮れたら最高なんだけどなあ。締め切りは11月の例会、たくさんのご応募をお待ちしております。なお、来年のテーマは「とっておきの東京」です。ヨロピク〜！



金賞 奥田/パパ 27票



銀賞 ハルク 25票



銅賞 と一さん成田 24票



審査員特別賞 岩坊



佳作 マッチ 19票



ベーゴマかるた&風景

